

☘ New Series 温泉めぐり…秘湯・悠湯・ゆけむりの郷さとをご紹介

苫小牧アルテン ゆのみの湯

苫小牧支部

高橋 人史

オートリゾート苫小牧アルテンは、道内屈指のオートキャンプ場を持ち、大自然の中でアウトドアライフを満喫できるリゾートエリア。その広大な敷地内にある温浴施設が“ゆのみの湯”である。

まず600円を払い、持参のタオルを抱え奥の暖簾に向かう。本日は右側が男性のようだ。備え付けのソープとシャンプーでササッと洗い、いざっサウナへ！

すでに猛者達でいっぱい。何故か皆、無口だ。ましてここはテレビも音楽も無いので、もはや修業の場である。瞑想する者、一点を見詰める者。者共の息遣い、滴る汗さえ聞こえてきそう。砂時計が最後の一粒を落とす…孤高の闘いに勝利した瞬間だ！

重い空間から一転、次は屋外へ。スーッと軽くなる開放感。広々とした景観に、東屋のかかった石造りの露天風呂。樽前山を眼前に大空の下、源



住所：苫小牧市樽前424番地 4 Tel.0144・61・4126

交通：JR 苫小牧駅よりバスあり

道央自動車道「苫小牧西IC」から、約10分

泉かけ流しの湯にゆったりと浸る。とても贅沢至極な気分。湯色は濁った黄土色、少しトロリとした肌ざわり。口当たりはこれが、しこたま塩っぱい!!だがこの泉質のご利益で、湯ざめせずポカポカと温まるのだ。

喉が渴いた湯上がりは、生ジョッキを“グビーッ”とって“プハ〜ッ”としたいものだ。ここのは毎日工場から200ℓタンクで直送され、他所のビールサーバーによる炭酸過多な代物とは些と違うのである！他にも苫小牧名物ハスカップのソフトクリームはスッキリとして美味！名産と言えば北寄貝のメニューも豊富なのでご賞味あれ！

渴きも潤い、一息もつけたので、そろそろ家路につきますか。外に出ると山からの風花が舞っていた…

取材後記：当日は雪がまだ残る3月の平日で、レジャー施設はオフシーズン。それでも結構混んでいました。詳細については0144-61-4126(ヨイフロ)にTELか、苫小牧アルテンゆのみの湯 をポチっとな！

<http://www.dp-flex.co.jp/arten/yunomi/yunomi.html>



コメント 樽前山の麓に位置する、かけ流しの温泉。塩分濃度の高い、濁り湯。
オートキャンプ場、パークゴルフ場などのレジャー施設と併設。
レストランでは、苫小牧名物のホッキ料理が充実しており、入浴と食事のお得セットが人気高い。

営業時間：10：00～22：00 定休日：第3水曜日 タオル類、持ち込み必要

入浴料 大人(中学生以上)600円 小学生 300円 幼児 無料

風呂の種類 内湯、露天風呂、サウナ、ジャグジー、寝湯、打たせ湯

広間・休憩室：あり 食事：自動販売機、レストラン、売店

宿泊：なし 近くにオートキャンプ場あり

泉源 自家源泉

ph値 6.68 (ヌルヌルした肌触り)

泉質 ナトリウム-塩化物強塩泉

湧出量 毎分230リットル

泉温 53.3℃

飲泉 なし



中はキレイ



強塩泉なので、しょっぱい